

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 「衣を正し、時を守り、場を清める、そして自分を磨く」のキーワードのもと、社会人として立派に通用する生徒の育成をめざす。
- 1 挨拶や服装・時間・整理整頓など、社会人としての礼儀を身につけさせる。
 - 2 特別活動や部活動の活性化に力を注ぎ、積極性や行動力、企画力に富み、将来社会に飛躍できる生徒を育成する。
 - 3 基礎学力の定着を図り、何事にもチャレンジし、進学・就職とも希望する進路を実現できる確かな学力（思考力、判断力、表現力）を育成する。
 - 4 相手の立場に立って考え、この考え方を他に広めることができる力を育成する。これにより心身ともに健康で自己有用感が持てる人材を育成する。

2 中期的目標

- (1) 確かな学力の獲得をめざす
- ・基礎学力の定着を図り「自ら考える力」を育成し「自己実現を達成できる学力」を身につける。
 - ・授業改善に取り組み、わかりやすい授業を展開する。これによりいきいきとした学校生活を送らせ、中退防止に効果をあげる。現在府平均（1.8%）を下回る中途退学率に維持し、個々の生徒に対する細やかな生徒指導を充実させる。
 - ・大学進学希望者の増加をふまえ、進学希望が実現できる学力保障、進路指導の取組みを強化する。
 - ・生徒の進路希望の変化に対応したカリキュラムの検討を進める。
 - ・積極的な取組みを実施する。
- (2) 社会人として立派に通用する生徒の育成をめざす
- ・平素の生活指導（服装指導・遅刻指導・美化活動）により、社会人として立派に通用する生徒育成を図る。
 - ・互いの個性を尊重し、人権意識の高い生徒を育成し、世界的な視野に立って考えられる力を養う。
 - ・生徒会行事を活性化し、いきいきとした学校生活を送れるよう支援する。
 - ・いきいきとした学校生活の支援のために部活動の充実を図る。平成 25 年度 42%の部活動加入率を 3 年間で 50%にまで引き上げる。
 - ・保護者と緊密な連携をし、信頼関係を構築。これにより保護者とともに生徒育成にあたる。
 - ・地域連携をすることにより人とのつながりを学ぶ。地域の資源活用を進める。
 - ・中退防止や個々の生徒を大切にするため中高連携を強化し生徒育成を図る。
 - ・職業観・勤労観の形成を重視したキャリア教育に取り組み、3 年間で卒業時の進路決定率 90%以上、就職内定率 100%の達成をめざす。
- (3) 機能的な校内体制の整備と地域連携を強化
- ・近隣の学校や諸団体との連携、交流を深め、地域連携の強化を図る。（異校種間との交流を行う）
 - ・出身中学との連携を緊密に行い、より深い生徒指導を実践する。
 - ・「国際教育推進委員会」を中心として、各種国際交流や国際理解行事等を推進する。
 - ・「情報主担者」を中心として、ホームページ更新ならびに生徒連絡ボードの運用等コンピューター関連業務を行う。
 - ・「支援教育コーディネーター」を中心として、支援教育の充実を図る。
 - ・地域の福祉施設と連携し、ボランティア活動に参加する。
 - ・校内体制を再構築し、生活指導のあり方を抜本的に改革し教育相談機能を充実させる。これにより生徒や保護者との信頼関係を構築する。
 - ・外部機関と連携し、多様な切り口により生徒指導についての充実を図る。
 - ・生徒支援委員会の業務内容を精査し、その実効性を強化する。
 - ・情報の「視覚化」を図り、生徒への情報伝達方法を工夫し、いきいきとした活動を支援する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 1 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導等】</p> <p>○「確かな学力」の獲得をめざし、「授業力」を高めるよう校長として授業観察を行ったが、様々な課題解決のため時間的な制約があり、十分とは言えないが、できる限り実施した。生徒は「分かりやすくなる」と思っている割合は年々増加し、昨年より 3.1 ポイント高く 58.9%となった。教員の取り組みの結果として評価できるがまだまだ工夫が必要と考える。</p> <p>○互見授業の推進を図り、11 月に授業見学月間を設定し、その報告書の提出を教員に求めたが提出率が芳しくない。教員の多忙という要素もあるが、今後工夫が必要と考える。研究授業を 2 回実施し、研究協議を行い、授業改善等の成果があった。中学校と授業を通じての連携は十分でなかった。</p> <p>【生徒指導等】</p> <p>○本校の生活指導は従来より厳しい指導を行ってきた。その指導に対する生徒の理解は「生徒指導は適切である」と肯定的な回答は年々高くなっており、昨年より 3.9 ポイント高く 69.9%であった。しかしながら指導内容が深い心の課題へと変化してきているが、その対応も丁寧におこなっている成果と考えられる。</p> <p>○課題を持った生徒に対して教育相談業務は重要である。その中で「相談できる先生がいる」という回答は昨年より 5.9 ポイント高く 48.3%高くなったもののまだまだ教員に相談できない現状があり、上記の内容も踏まえ、生徒や保護者との信頼関係構築のためさらに改善することが大切。</p> <p>○進路指導において、きめ細かく指導が行えている。その結果として「適切におこなっている」という回答は昨年より 4 ポイント高く 74.2%となった。</p> <p>【学校運営】</p> <p>○「校長先生や先生方ががんばっている」と回答した生徒は昨年より 10.6 ポイントも高く 78.3%となった。「学校行事が工夫されている」という回答は昨年より 5.3 ポイント高く 71%となった。生徒が自主的に行事運営ができるチャンスを提供してきた結果と考える。「生命の大切さ、社会のルールを守る態度を育成しようとしている」回答は 6.6 ポイント高く 69.5%となり、学校の指導が効果を上げていると分析できる。</p> <p>○保護者からのアンケート結果の傾向は、進路指導についての要望が多い。守口東に一番望む授業は「進路希望が実現できるように学力を高める授業」として昨年より 4.3 ポイント高く 35.6%となった。さらに授業改善に取り組む必要性を感じる。</p>	<p>第 1 回（7 / 23）</p> <p>○学校の様子について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に勤め守口東の生徒さんにかかわる者として学校は大きく変化したと思う。登下校の様子や身だしなみについて本当に良くなった。 ・地域への貢献や生徒が活躍できる学校としての様々な取組みの成果が見られる。 ・直接的なコミュニケーションが取れない子どもへの対応が課題ではないか。子どもがしんどい状況であってもなかなか気持ちを表現しないことが多いように思う。それをいかに引き出すかが学校の課題でもあり、社会の課題でもある。（学校側から:そういう課題に対して相談室や居場所づくりの事業の活用が必要となる） ・スマートフォンの使い方などの指導が必要だろう。 ・ネット社会に対応する指導が必要 ・ネット社会について保護者への指導も必要がある <p>第 2 回（12 / 14）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設見学して、落ち着いた雰囲気（清掃が行き届いている。生徒の部活動の様子も見学してスリッパなどがきっちり並べている様子からも学校の状態がわかる）が感じ取られた。 ・これからの教育はインプットからアウトプットへ転換していく事が大切。自分の考えを表現して行くことが大切。 ・地域公開講座のような取組みは地方創生の観点からもどんどん進めて欲しい。 ・校長の「これからの本校の方向は自ら学び自ら考える学校づくりだ」という考えを進めて欲しい。 ・守口大根プロジェクトを利用して研究課題を考えてみて面白いのでは。 ・活動をユーチューブの利用することも考えてはどうだろうか ・地方創生や地域活性化の観点から学校の取組みを考えてみてはどうか。和歌山大学の学生さんが取組んでいる商店街活性化などを参考にしても面白い・「高校生ベンチャー」という取組みはどうだろうか。 ・地域資源の活用もこれからの学校として考えてみてはどうか。 <p>第 3 回（2 / 15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用の一つとして高校の活動を動画で配信してはどうだろうか。生徒自身が、作成することも考えてはどうか。 ・政治的教養を育む教育については、様々な課題があるのもう少しじっくり取り組むべきだと思う。 ・家庭学習の充実において自主自立の気持ちを育成するという工夫し、クラウドを利用することも考えてはどうだろうか。 ・地域連携の一つとして絵本の読み聞かせを行ってはどうか。特に幼稚園や保育園との連携の中で実習を導入してはどうか。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力の獲得をめざす	<p>(1) 授業改善による取組みとわかりやすい授業展開により、豊かな学校生活を送らせ、『夢実現のための指導』を行う</p> <p>ア「少人数クラスと習熟度別少人数展開授業」</p> <p>イ 中高連携と授業評価による授業力向上</p> <p>ウ 進学・就職希望者への進路実現をめざした指導の強化</p> <p>エ 図書館の活性化</p> <p>オ進路を見通した出前授業の実施</p>	<p>(1)</p> <p>ア・1年生8クラスを9クラス展開し、36人学級を実現。高校生活をスムーズにスタートさせる。</p> <p>・1年数学：習熟度別2クラス3展開</p> <p>1年英語(OC)：1クラス2展開の少人数展開</p> <p>2学期末に生徒アンケート(少人数授業)実施</p> <p>イ・近隣中学と連携し、相互の研究授業の実施。</p> <p>・授業見学期間(11月)の実施。</p> <p>・年2回の生徒による授業アンケートの実施。</p> <p>ウ・2,3年生の選択科目を精選し、進路実現に向けた推奨パターンを設定</p> <p>・実践的キャリア教育・職業教育支援事業の活用。</p> <p>・全学年での、民間教育産業の進路教材の活用</p> <p>・大学進学者のための講習</p> <p>エ・生徒の図書館利用の推進(自習コーナーの利用を含む)</p> <p>オ・幼児教育希望者に英語の出前授業を実施し、英語教育に対する意識向上を図る</p>	<p>ア・新入生の中退者数の減少。(H26 1名)</p> <p>・生徒アンケート結果：少人数授業の肯定率65%以上(H26 数学60% 否定13%、OC肯定65.5% 否定9.4%)</p> <p>イ・H26 中学開催2回、本校開催1回実施の充実と参加教員の拡大</p> <p>・生徒アンケートの満足度。</p> <p>ウ・選択科目の進路別推奨パターンづくり</p> <p>・家庭学習時間の向上</p> <p>・進路決定率90%(H26 87%)</p> <p>エ・引続き貸出冊数1000冊以上(H26 857冊)</p> <p>・自習コーナーの利用人数(自習機使用簿で把握 H26、181名)</p> <p>オ・出前授業の実施</p>	<p>ア・新入生の中退者数は1名であった。きめ細かい指導ができてきている。(◎)</p> <p>・少人数授業アンケート：数学I肯定53%否定10.6% 英語(OC)肯定65.4%否定9.4%(○)</p> <p>イ・中学校開催の連絡が急な連絡で日程が合わず参加できなかった。本校開催分は連絡したが、中学校の都合と合わずできなかった。(△) 校内において保健と世界史の研究授業、研究協議を2回、研究協議には13名参加した。(◎)</p> <p>・生徒による授業アンケート結果は「授業内容に興味関心が持てた」学校平均2.97「授業を受けて知識技能が身についた」学校平均3.02となり昨年よりそれぞれ0.1、0.12高くなった(◎)</p> <p>ウ・理科選択について変更をおこなった(○)・家庭学習(△)・進路決定率97.7%(◎)</p> <p>エ・貸出冊数266冊・自習コーナー利用人数88人(△)</p> <p>オ 大学より講師を招きキッズ英語に関する出前授業を実施し、17名の参加があった(◎)</p>
社会人として立派に通用する生徒の育成をめざす	<p>(1) 生徒指導</p> <p>ア 日常の生徒指導(頭髪・服装指導、遅刻指導、美化活動等)により、社会人として立派に通用する生徒育成に努める</p> <p>イ 生徒会活動の充実により、学校全体の活性化を図る</p> <p>ウ 部活動の活性化により、充実した高校生活と社会性を醸成する</p> <p>(2) キャリア教育</p> <p>エ 職業観、勤労観の形成を重視したキャリア教育に努める</p> <p>(3) 保護者連携</p> <p>オ 保護者と緊密な連携を取ることで、信頼関係を構築。学校の理解者として、ともに生徒育成に努める</p>	<p>(1)</p> <p>ア・頭髪指導、服装指導、遅刻指導、美化活動、交通安全指導等の生徒指導において、すべての教員が共通理解を持ち、一致して取り組む工夫と社会人として立派に通用する生徒の育成</p> <p>イ・生徒会が体育祭や文化祭等の学校行事において前面に出ることで生徒中心の行事であることを浸透させる。また、生徒会は裏方の仕事も多いが、他の生徒の手本となるような活動に取り組む</p> <p>ウ・いきいきとした学校生活の支援のためにクラブ活動の充実<既存クラブの充実と新設クラブの育成></p> <p>・経済的な負担を軽減する支援体制</p> <p>・「校内表彰制度」による部活動の活性化。</p> <p>・近隣の中学校を対象に地域大会「守東カップ」を発展させ、部活動を活性化</p> <p>・試合結果の速報体制の確立</p> <p>(2)</p> <p>エ・キャリアカウンセラー等の外部人材の活用</p> <p>・企業人や卒業生を招いてのキャリア講演会</p> <p>・キャリア意識を高めるための作文指導の強化</p> <p>・職業適性診断の充実</p> <p>(3)</p> <p>オ・PTA活動を活発化し、一般保護者の行事参加を促進する</p> <p>・行事等を活用し、保護者の学校理解に努める</p>	<p>(1)</p> <p>ア・生徒1人当たりの遅刻回数の減少(H26年 3.2回)</p> <p>イ・行事後の生徒・職員アンケートによる満足度及び生徒会・生徒実行委員会の行事参画度調査</p> <p>ウ・1年生の加入率60%をめざす。(H26 55.2%)</p> <p>・高体連加盟費等の経済的負担の支援</p> <p>・表彰規定の検討と表彰件数の2%増加(H26 15団体 136名)</p> <p>・競技種目及び参加中学校数の拡充(H25 サッカー部8中学、ジュニアチーム等)</p> <p>・守東メールマガジンの送信回数(H26 38回)</p> <p>(2)</p> <p>エ・就職内定率100%</p> <p>・キャリアカウンセラー等の外部人材活用内容と回数等の活用状況</p> <p>・企業人・卒業生を招いてのキャリア講演会に対する評価</p> <p>・作文指導の内容と回数</p> <p>・職業適性診断の活用状況</p> <p>(3)</p> <p>オ・PTA行事(総会・教育懇談会・バザー・社会見学会・コンテナガーデン・清掃ボランティア等)、学校行事への保護者参加状況</p> <p>・情報発信等により学校理解を深める</p>	<p>(1)</p> <p>ア・遅刻のべ3169人、生徒1人あたり遅刻回数は3.6回(△)</p> <p>イ・教員の工夫により主体的に行事参加ができてきている。行事満足度71%(◎)</p> <p>ウ・1年生の加入率は55.9%(○)</p> <p>・部活動への経済的な支援ができてきている(○)</p> <p>・表彰者の増加により表彰基準が高くなったが表彰者数は昨年より増加し、表彰団体数が20団体、191名(◎)</p> <p>・サッカー部が開催し、8チームの参加があった(○)</p> <p>・メールマガジンの送信回数は38回(○)</p> <p>(2)</p> <p>エ・学校紹介就職内定率は100%(◎)</p> <p>・キャリアカウンセラーの人材活用は配当時間420時間をすべて活用したが、不足状態であった(◎)</p> <p>・劇団員の寸劇によるフリーター防止研修(1年生)卒業生13人による体験談(3年生)(○)</p> <p>・作文指導は2回実施(○)</p> <p>・職業適性診断1年生入学当初、2年の11月に実施、個人面談や保護者懇談に活用した(○)</p> <p>(3)</p> <p>オ・PTA実行委員会等において学校の取り組みを説明し、質疑応答が活発に行われた。(○)</p> <p>・校長ブログによりPTA行事について情報発信した(◎)</p>
機能的な校内体制の整備と地域連携を強化	<p>(1) 地域連携</p> <p>ア 近隣の学校や諸団体との連携・交流を深め、地域連携の強化を図る</p> <p>(2) 国際理解教育</p> <p>イ「国際教育推進委員会」を中心として、国際理解教育や国際交流に取組み、生徒の興味関心を引き出す</p> <p>(3) 広報関連業務</p> <p>ウ「情報委員会」を中心として、ホームページの更新ならびにPC関連業務を充実させる</p> <p>エ 広報活動の推進</p> <p>(4) 特別支援教育</p> <p>オ「支援教育コーディネーター」を中心とした教育相談体制の強化</p> <p>(5) 校内体制の整備</p> <p>カ 分掌の改編を視野に入れた内規の整備</p>	<p>(1)</p> <p>ア・地元保育園との連携</p> <p>・生徒による母校訪問</p> <p>・生徒会を中心としたボランティア等の活動</p> <p>・生徒主体のオープンキャンパス</p> <p>・出身中学との緊密な連携により生徒指導の充実</p> <p>・守口市との連携強化による近隣自治会等との連携(地域で親子講座を土曜日に開設する)</p> <p>(2)</p> <p>イ・地域及び全国の国際交流諸団体との連携による国際理解教育、国際交流の充実</p> <p>(3)</p> <p>ウ・ホームページのタイムリーな更新</p> <p>・校内のコンピューター関連業務をまとめ、調整する</p> <p>・「守口東メールマガジン」による情報発信</p> <p>・コミュニケーションボードを利用し、生徒への連絡等を発信し生徒自身が展望を持って行動できるようにする</p> <p>エ・各種学校説明会への積極的参加と独自の説明会の開催</p> <p>(4)</p> <p>オ・教育相談室や保健室での教育相談機能の充実。</p> <p>・外部組織の活用による教育相談体制の強化</p> <p>(5)</p> <p>カ・内規の整理と変更</p> <p>・校内体制の再構築(人権推進委員会の業務内容の変更)</p>	<p>(1)</p> <p>ア・2年生全員参加の継続</p> <p>・入学生全中学校での1回実施</p> <p>・地域諸団体呼びかけに呼応</p> <p>・生徒会、クラブ員による手づくりオープンキャンパスの取組み等の状況</p> <p>・中学校訪問数集計</p> <p>・新しい取組状況</p> <p>(2)</p> <p>イ・海外の学校、生徒との交流</p> <p>(3)</p> <p>ウ・ホームページの最新情報更新回数の増加</p> <p>・生徒の学情PC使用の活性化</p> <p>・「守口東メールマガジン」による情報発信の頻度</p> <p>・生徒アンケート等による調査分析</p> <p>(4)</p> <p>オ・教育相談室の教員常駐による教育相談機能の充実</p> <p>・外部組織活用回数</p> <p>(5)</p> <p>カ・変更の有無</p> <p>・変更の有無</p>	<p>(1)</p> <p>ア・希望者のみとなったが、1年生まで募集を拡大した。30名の参加があり積極的に参加できた(○)</p> <p>・69校への母校訪問を実施(◎)</p> <p>・生徒の自主的な朝の挨拶運動実施(◎)</p> <p>・生徒主体の学校説明会が実施できた(◎)</p> <p>・教員の中学校訪問数46件(昨年43件)(○)</p> <p>・自治会との取組ができなかった。(△)</p> <p>(2)</p> <p>イ・タイの高校生と生徒主体のすばらしい交流ができた(◎)</p> <p>(3)</p> <p>ウ・ホームページについて適宜更新を行い、校長の式辞集も適宜更新を行った。校長ブログを100件発行(◎)</p> <p>・生徒のPC利用は不十分(△)</p> <p>・メールマガジンの発信数は34回(○)</p> <p>・学校評価について保護者に分析結果を周知した(○)</p> <p>エ・積極的参加ができた。独自の説明会は3回実施(◎)</p> <p>(4)</p> <p>オ・教育相談指導教諭が常駐し対応にあたったが、学校として全体化する必要がある(△)</p> <p>・NPO法人を活用し、毎週火、木の活動ができた(◎)</p> <p>(5)</p> <p>カ・十分でない(△) ・来年度に向けて方向づけた(△)</p>